

# 11月定例会では 代表質問を行いました

## 代表質問とは

代表質問は、一般質問に先立ち、翌年度の市政の運営に向けて会派の政策提言・提案という趣旨で会派を代表する議員が行うものです。

## 一般質問とは

一般質問は、個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。

## 自民公明クラブ

戸塚 哲夫 議員

### 令和2年度予算編成

**問** 予算編成の基本的な考え方と基本方針、予算規模は。

**答** ICTを活かしたまちづくりやまちの国際化、教育環境の充実など、これまで取り組んできた。「人生100年時代」や「ソサエティ5.0社会」を見据え、ラグビーワールドカップのレガシーを生かして、現在予算編成に取り組んでいる。予算規模は、総合体育館や防災センターの整備が完了する一方で、浅羽中学校の校舎改築、教育会館の整備に伴う投資的経費や、生活保護費や扶助費の増加が見込まれ、345億円から350億円程度になると考えている。

### 豪雨対策

**問** 河川等整備計画の進捗状況は。

**答** 平成30年度末時点で、河川や排水路が計画整備延長4520メートルのうち、3622メートルが完了し、進捗率は約80%。

遊水池や校庭貯留などの流出抑制施設は計画箇所17箇所のうち10箇所が完了し、進捗率は約60%となっている。

**問** 次期計画にあたり河川整備目標をどう設定していくのか。

**答** 次期計画は、袋井市総合計画や県太田川水系河川整備計画とも整合を図り、台風19号で発生した高南地区を中心とした床上・床下浸水被害解消を目指すことも含め、令和3年度から10年間の具体的な目標を設定していきたい。

### 子育て支援事業

**問** 来年度に向けた待機児童解消の見通しは。

**答** 定員19人と12人の小規模保育施設2園の新設により、31人の定員増、家庭的保育事業から小規模保育施設への移行により7人の定員増、袋井南幼稚園を認定こども園化することにより21人の定員増、さらに袋井南保育所を0歳から2歳までに特化した保育所にするこ

人の定員増、合計110人の定員拡大に取り組んでいる。

### その他の質問項目

- ・公立・公的病院の再検証要請を受けて
- ・袋井市の農業の在り方
- ・自治会長など地域役員の負担軽減
- ・ラグビーワールドカップ2019
- ・活みなぎる産業のまちを目指すために



浅羽中学校のイメージ図